

小学校 ICT 活用授業 児童のプレゼンカコンテスト

学校 (団体)	フリガナ トウキョウ		フリガナ ニシマチインターナショナルスクール	
	東京	(都) 道 府 県	国 都 道 府 県 市 立	西町インターナショナルスクール
指導 教員名	姓	名	担当学年、クラス名	
	フリガナ ホリイ	キヨタカ	コンピュータクラブ	
	堀井	清毅	2 年から 5 年	

単元タイトル 西町どうぶつずかん

単元のねらい

「動物」をテーマに、生徒たちは下記の視点で調べ学習を行ないます。動物について自分で調べ、自分でまとめることで、これまで考えてもいなかった新しい発見をします。調べたことをブログにまとめ、ピッケのつくるプレゼンテーションの上で図鑑としてまとめることで、学習の反復を行い、学びを深めます。また、プレゼンテーションを保護者や他のクラスの友達に発表することを目的にすることで、他者意識を持ち、質の高い作品を作成することを心がけます。

2年生=ペット <ul style="list-style-type: none"> ・ペットになるどうぶつ ・人気のあるペット ・ペットがいるといいこと ・ペットがいるとわるいこと 	3年生=どうぶつ図鑑 <ul style="list-style-type: none"> ・動物の種類 ・それぞれの動物の大きさ ・形 ・食べ物 ・人間とくらべると ・自分たちだけの図鑑 	4年生=生態系 <ul style="list-style-type: none"> ・Ecosystem ・食物連鎖 ・生態ピラミッド ・私たち人間が生態系にあたる悪いこと ・私たち人間が生態系にあたる良いこと 	5年生=動物保護・絶滅危惧種 <ul style="list-style-type: none"> ・絶滅危惧種リスト ・どんな状況か ・原因はなにか ・どんな解決方法があるか ・私たちに出来ることは何か
--	---	--	--

児童のプレゼンカやコミュニケーション力を育成するために工夫した点

- ・ マインドマップを使ってブレインストーミングを行い、お互いの思いや考えを共有し、協働学習に役立てる。
- ・ 西町コンピュータクラブのブログを活用し、他者意識を持ってブログを投稿することで、自分の発表が相手にどのような影響を与えるか考えさせる。
- ・ 友達の投稿を閲覧し、ポジティブなコメントをすることで、批判的思考力を養いながらコミュニケーション能力を育てる。
- ・ 書いたブログをピッケのつくるプレゼンテーションに落とし込むことで、反復学習の作用をもたらす。
- ・ ブログは家庭で学習する際にも使い、プレゼンテーションの推敲に役立てる。
- ・ 学校での少ない協同学習時間を有効活用するため、調べ学習やブログへの投稿は家庭学習とする。
- ・ IT ツールの使い方で分からないことがあれば、「Techspert として活躍する生徒最低3名に質問をして、解決できない時に先生に質問する」というルールを作る。
- ・ 「教師が3回手を叩いたら速やかにタブレットを裏に返し、注目する」というルールを作る。

ICT 活用とその工夫した点

- ・ マインドマップでは思考の可視化を促すため、敢えて ICT ツールを使用せず、絵の具・ペン・画用紙を用いて、共同作業でマッピングを行った。
- ・ 調べたこと、考えたことを発表するツールとして"ピッケのつくるプレゼンテーション"を使用した。
- ・ 今回はキーボード無しタブレットでの活動になったため、文章を打ち込むのが少々不便であった。そこで、子供たちにはブログを十分に活用させ、クラウドに上げた文章をコピー＆ペーストしてピッケのつくるプレゼンテーションに落とし込むよ

う指示した。

- ・ インターネットエクスプローラーとピッケのつくるプレゼンテーションを行ったり来たりしてマルチタスクを行うのは、普段 iPad で学習している生徒たちにとっては新鮮だった。そしてその利便性から集中力を上げることができた。
- ・ 写真を検索する際は、Creative Commons Search を使って、「改変後の営利目的での再利用が許可された画像」を探すように指示した。
- ・ ウェブ上の簡易採点ツールを使用し、授業中の積極性やがんばりを評価し、10点獲得ごとにご褒美のシールを授与した。

ICT 環境 (PC, ネットワーク、コンテンツ、周辺機器)

使用 ICT ツール

- ・ Windows タブレット (東芝 デタッチャブルウルトラブック dynabook キーボード無し)
- ・ KidBlog.org (ブログ)
- ・ ClassDojo.com (簡易評価ツール)
- ・ ピッケのつくるプレゼンテーション

ICT 環境

- ・ 無線 LAN
- ・ PA
- ・ オーバーヘッドプロジェクター
- ・ スクリーン

教科単元 (複数化)	国語 (東京書籍教科書より) 1年: どうやってみをまもるのか 2年: ビーバーの大工事 3年: もうどう犬の訓練 4年: ヤドカリとインギンチャク 5年: 動物の体と気候 6年: イースター島にはなぜ森林がないのか 理科、社会、情報などの授業で応用可	対象 学年	小学校全学年	総時間	7～9時間
---------------	---	----------	--------	-----	-------

単元計画 (単元の流れと実践の内容を記入してください。)

導入	学習内容	
授業時間 (1～2)	<p>好きな動物についてマインドマップを行う。ルールの説明の後、マインドマップを始める。学年に応じて、興味の枝を提示する。(低学年=ペット、動物園等 高学年=生態系、動物保護・絶滅危惧種等)</p> <p>本質的な問い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どのようにすれば、動物を守れるのでしょうか? <p>導入の言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「自然環境の悪化に伴い、生物の多様性がこれまでにない早さで失われています。その生物を、より身近に感じるために、みんなでどうぶつ図鑑を作りましょう。」 ・ 「それぞれ違う動物について、調べてまとめます。今日の授業では、ペアになってお互いの気持ちをシェアしましょう。」 	
	使用した ICT 機材	活用のねらい・工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・ プロジェクター ・ 教師用コンピューター1台 ・ マインドマップのルールプレゼンテーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・ マインドマップのルールと作成方法を示すために、教師がプレゼンテーションを行う。 ・ 思考の可視化を促すため、生徒には、敢えて ICT ツールを使用させない。 ・ どうぶつ図鑑は個別に作成するので、導入としてこのマインドマップはペアかグループで行うと良い。

展開 授業時間 (1～2)	学習内容 マインドマップを見直し、一番興味のある動物を探す。 その動物についてインターネットを活用し、次の視点で調べ学習を行なう。 ・ 動物の種類 ・ それぞれの動物の大きさ、形 ・ 食べ物 ・ 人間との比較	
	使用した ICT 機材	活用のねらい・工夫
	・ ラップトップ ・ インターネット ・ ブログ	・ 下記サイトを利用して、学習スキル、興味に合わせた調べ学習を行なう。スキルに合わせた調べ学習を進めることで、学習の個別化を促す。 ・ タブレット端末を使用する前に、ラップトップで学習を行なうことで、調べる時間、文章をまとめる時間を効率的にする。 ・ 自分の調べる動物を決めたら、すぐにブログにその動物名を投稿する。同じ動物は選ぶことができないため、希望の動物をゲット（獲得）するためには、ブログへの投稿を早く行わなくてはいけないルールを作ると、家庭からでも挙ってブログにアクセスする。 ・ ブログを活用することで、反転学習を促すことができる。 うごく動物図鑑 http://www.tokyo-zoo.net/movie/mov_book/index.html 生態系って何ですか http://kids.gakken.co.jp/kagaku/eco110/answer/a0074.html 生き物 SOS 図鑑 http://www.nhk.or.jp/eco-channel/jp/special/02/
まとめ 授業時間 (1～2)	学習内容 これまでに調べてきた内容を、ブログにまとめる。「動物の種類、動物の大きさ、形、食べ物、人間との比較」について、分かりやすくまとめるために、図や写真をつける。調べて分かったことや、新しい発見、感想などもブログに書く。友達のブログを見て、良かった点や改善点についてコメントを行う。	
	使用した ICT 機材	活用のねらい・工夫
	・ ラップトップ ・ KidBlog ・ ClassDojo ・ Creative Commons Search	・ ブログを活用する際、学校で学習しているメディアリテラシーについて熟考する。 ・ 友達のブログにコメントをする際は、改善点を指摘する時でも、ポジティブにコメントができるように気をつける。 ・ 写真を検索する際は必ず Creative Commons Search を利用することを徹底する。 ・ 簡易評価ツールを教師が使用することで、子供たちのモチベーションを持続させる。家庭からの学習の頻度に応じて評価して上げて良い。
ふりかえり 授業時間 (2～3)	学習内容 これまでにまとめてきたブログを、ピッケのつくるプレゼンテーションを使用して図鑑にする。スライドの最後には、感想を書く。事実と意見を区別し、中心となる考えが伝わるように組み立てを工夫して書く。知りたいことや分かったことを、目的や意図が明確になるように書く。書いた文章を推敲する。より良い表現になるように推敲を重ねる。	
	使用した ICT 機材	活用のねらい・工夫

	<ul style="list-style-type: none"> ・ KidBlog ・ ClassDojo ・ ピッケのつくるプレゼンテーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ブログを活用し、調べ学習、それをまとめる作業を家庭からも出来るようにする。 ・ どうぶつ図鑑に載せる内容を、予めブログに掲載しておくことで、ピッケのつくるプレゼンテーション上で文章を打ち込む作業の負担を軽減する。 ・ ブログを活用することで、文章の校正や訂正のアドバイスを教師から生徒に的確に伝えられるようにする。 ・ 教師もブログを投稿することで、授業の目的や、便利な情報・リンクなどを生徒に提示する。 ・ オンライン簡易評価ツールを用いて、生徒の作業に取り組む態度を評価し、生徒のやる気を引き延ばす。 ・ ピッケのつくるプレゼンテーションを活用し、これまでネット上に掲載していた文章をプリントアウトして手渡す素材に変えることで、相手意識を更に高める。 ・ 出来上がったスライドを使って、保護者や他校の関係者にむけてプレゼンテーションを行うと良い。 ・ 一人一人の仕上げたスライドを製本し、手に取って作品を味わうことで、学びの深化を促す。
--	--	---